

Thu. Sep 16, 2021

16日関連学会-1

関連学会

日本家禽学会2021年度秋季大会

9:00 AM - 5:00 PM 16日関連学会-1 (オンライン)

[RS3] 日本家禽学会2021年度秋季大会

16日関連学会-2

関連学会

日本産肉研究会第28回学術集会

1:00 PM - 4:15 PM 16日関連学会-2 (オンライン)

[RS4] 日本産肉研究会第28回学術集会

16日関連学会-3

関連学会

第4回 畜産研究分野における気候変動緩和技術開発に
関する国内ネットワーク集会

1:00 PM - 5:00 PM 16日関連学会-3 (オンライン)

[RS5] 第4回 畜産研究分野における気候変動緩和技術開発に
関する国内ネットワーク集会

16日関連学会-4

関連学会

家畜育種研究会 第57回オンライン談話会

10:00 AM - 12:00 PM 16日関連学会-4 (オンライン)

[RS6] 家畜育種研究会 第57回オンライン談話会

関連学会

日本家禽学会2021年度秋季大会

Thu. Sep 16, 2021 9:00 AM - 5:00 PM 16日関連学会-1 (オンライン)

日本家禽学会2021年度秋季大会

主催：日本家禽学会

<各種委員会，理事会>

日時：2021年9月15日(水)

<一般講演>

日時：2021年9月16日(木) 9:00～17:30

場所：東北大学（オンライン開催，Zoomを利用します）

備考：全演題ともライブ配信で行う予定です。口頭発表のためにPowerPointファイルもしくはPDFファイルをご準備ください。

※本大会における優秀発表賞の受賞者選考も行います。

参加費：会員3,000円，非会員4,000円など

※詳細は学会HPをご確認ください <https://jpn-psa.jp/oshirase/>

講演要旨：1部2,000円（冊子版，送料込み）

※大会参加申し込み者全員に講演要旨PDF版へのアクセス用URLをお知らせいたします。

<総会，優秀論文賞・優秀発表賞授与式>

日時：2021年9月16日(木) 14:20～15:10

場所：オンライン（Zoom総会会場）

議題：1) 経過報告

2) その他

備考：優秀発表賞受賞者は研究発表当日の総会で発表し，総会後に授与式を行います。該当者は総会へ出席いただくようお願い致します。

<若手企画セミナー>

日時：2021年9月16日(木) 12:10～13:10

場所：オンライン（Zoom利用）

演者：早川 岳彦（DSM Nutritional Products Asia Pacific）

テーマ：養鶏現場で求められる研究とは？～日本と諸外国の今～

※最新情報については学会HPの大会案内をご確認ください。

<https://jpn-psa.jp/oshirase/>

問合せ先：日本家禽学会事務局

〒305-0901 茨城県つくば市池の台2 農研機構 畜産研究部門内

TEL&FAX: 029-838-8777, E-mail: jpsa-s@naro.affrc.go.jp

[RS3] 日本家禽学会2021年度秋季大会

(Thu. Sep 16, 2021 9:00 AM - 5:00 PM 16日関連学会-1)

[RS3] 日本家禽学会2021年度秋季大会

関連学会

日本産肉研究会第28回学術集会

Thu. Sep 16, 2021 1:00 PM - 4:15 PM 16日関連学会-2 (オンライン)

”食肉の生産から食卓までを繋ぐ” 日本産肉研究会第28回学術集会

シンポジウムテーマ「「みどりの食料システム戦略」の先にある食肉生産の将来」

日 時：2021年9月16日（木）13:00～16:15

開催方式：Zoomによるオンライン開催

参加費：無料

開催趣旨：2021年5月、農林水産省により「みどりの食料システム戦略」が策定された。以下は農林水産省HPからの本政策の目的の抜粋である。

「我が国の食料・農林水産業は、大規模自然災害・地球温暖化、生産者の減少等の生産基盤の脆弱化・地域コミュニティの衰退、新型コロナを契機とした生産・消費の変化などの政策課題に直面しています。このような中、健康な食生活や持続的な生産・消費の活発化やESG（環境・社会・ガバナンス）投資市場の拡大に加え、諸外国でも環境や健康に関する戦略を策定するなどの動きが見られます。今後、SDGsや環境を重視する国内外の動きが加速していくと見込まれる中、持続可能な食料システムを構築することが急務となっています。」

本政策の大きなポイントとして、①食料・農林水産業が直面する持続可能性の課題、②地球環境問題とSDGsへの対応、③持続的な食料システムの構築の必要性を掲げている。有機農業推進に関わる具体的な重要業績評価指標（KPI）として、2050年までに化学農薬使用量の50%低減、輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を30%低減、オーガニック市場を拡大しつつ、耕地面積に占める有機農業の取り組み面積の割合を25%（100万ha）に拡大を目指す、とされている。

我が国では2005年に有機畜産物の表示基準が制定されて以来、有機畜産に取り組む生産者、流通業者など関係者は「臥薪嘗胆」の思いだったのではないだろうか。「みどりの食料システム戦略」はこれまでの畜産振興や効率的生産方式の方向性とは異なり、SDGs達成に向けて有機農業への転換に大きく舵を取った。これまでの、これからの畜産はどう変化、対応していくべきか時代の分岐点を様々な角度から論じたい。

プログラム：

12:00～13:00 受付開始

13:00～13:05 会長挨拶

○13:05～13:45

農林水産省担当

「みどりの食料システム戦略の概要」（仮）

○13:45～14:15

堤 道生（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 西日本農業研究センター）

「有機畜産は本当に環境にやさしいか？」（仮）

○14:15～14:45

清野 由起子（株式会社ビオ・マーケット）

「暮らしの真ん中にオーガニックを」（仮）

14:45～15:55 休憩（10分）

○14:55～15:25

小谷 あゆみ（農業ジャーナリスト）

「本当にヘルシーな畜産物とは？」（仮）

○15:25～15:45

日本産肉研究会

「日本産肉研究会が提案する持続可能な牛肉評価基準検討の第一歩」（仮）

○15:45～16:15

日本産肉研究会 総合討論

[RS4] 日本産肉研究会第28回学術集会

(Thu. Sep 16, 2021 1:00 PM - 4:15 PM 16日関連学会-2)

[RS4] 日本産肉研究会第28回学術集会

関連学会

第4回 畜産研究分野における気候変動緩和技術開発に関する国内ネットワーク集会

Thu. Sep 16, 2021 1:00 PM - 5:00 PM 16日関連学会-3 (オンライン)

第4回 畜産研究分野における気候変動緩和技術開発に関する国内ネットワーク集会

農業分野の温室効果ガスに関する研究ネットワークであるグローバル・リサーチ・アライアンス（GRA）は、第15回国連気候変動枠組み条約締約国会議（2009年12月/コペンハーゲン）における設立決定及び閣僚サミット（2011年6月/ローマ）における正式発足を経て、今年で10年目を迎えています。

GRAの4つの研究グループのうち、畜産研究グループ（Livestock Research Group; LRG）は、各国の畜産分野における温室効果ガスに関する研究の進捗状況、情報収集や整理等を行い、内部に6つの研究分科会を設けました。また様々なフレームワーク等との連携を深める活動を進め、ガイドラインの作成、人材育成、実証試験の実施等、活動の枠を広げてきたところです。

2016年11月にパリ協定が発効し、2030年目標に向けた気候温暖化緩和策への速やかなコミットメントが求められている中、2017年8月にはつくばにおいてGRA総会が開かれ、日本は議長国を務めました。当該会合においては、今後も引き続きわが国の研究勢力と研究成果をもって確固たるプレゼンスを確保する必要があります。そこで、国内外研究ネットワーク体制の構築及びGRA-LRGにおけるわが国の戦略について議論するため、下記のとおり第4回の会合を開催します。

日時：2021年9月16日（木）13:00～17:00

開催方式：Webexによるオンライン開催

参集範囲：行政部局、国立研究開発法人、大学、地方独立行政法人、民間等の関係者

議事次第：

(1)挨拶：農林水産省農林水産技術会議事務局、農林水産省生産局畜産部畜産振興課

(2)趣旨説明：林 慶一 プログラムディレクター（JIRCAS）

(3)気候変動分野における農業政策の概観（仮） 長野 暁子 課長補佐（農林水産省）

(4)GRA-LRG関連活動に関する近況報告 前田 高輝 主任研究員（JIRCAS）

(5)LRG各研究グループによる現状報告

【ルーメン微生物】 小林 泰男 教授（北海道大学）

【家畜選抜・ゲノム】 鈴木 知之 ユニット長（農研機構）

【飼養管理】 鈴木 知之 ユニット長（農研機構）

【家畜排泄物処理・管理】 荻野 暁史 上級研究員（農研機構）

【草地】 森 昭憲 上級研究員（農研機構）

(6)総合討論

問合せ先：（国研）国際農林水産業研究センター 生産環境・畜産領域 前田高輝

〒305-8686 茨城県つくば市大わし1-1

TEL：029-838-6365, E-mail: k_maeda@affrc.go.jp

[RS5] 第4回 畜産研究分野における気候変動緩和技術開発に関する国内ネットワーク集会

(Thu. Sep 16, 2021 1:00 PM - 5:00 PM 16日関連学会-3)

[RS5] 第4回 畜産研究分野における気候変動緩和技術開発に関する国内
ネットワーク集会

関連学会

家畜育種研究会 第57回オンライン談話会

Thu. Sep 16, 2021 10:00 AM - 12:00 PM 16日関連学会-4 (オンライン)

家畜育種研究会 第57回談話会

日時：2021年9月16日(木) 10:00～12:00

開催方式：Zoomによるオンライン開催

プログラム：

1) 10:00～11:00

「北海道における乳用牛群検定システムと体細胞スコアの改良」

山口 諭（北海道酪農検定検査協会）

2) 11:00～12:00

「肉牛の量的形質改良に向けた研究事例の紹介」

小野木 章雄（龍谷大学）

座長：山崎 武志（農研機構北海道農業研究センター）

参加申込：学会大会HP（関連学会・研究会）をご覧ください。

問合せ先：家畜育種研究会事務局 西浦 明子

〒305-0901 茨城県つくば市池の台2 農研機構畜産研究部門内

TEL: 029-838-8625, E-mail: animal-breed@ml.affrc.go.jp

[RS6] 家畜育種研究会 第57回オンライン談話会

(Thu. Sep 16, 2021 10:00 AM - 12:00 PM 16日関連学会-4)

[RS6] 家畜育種研究会 第57回オンライン談話会